

パブリックコメント結果

「第4次こうふ男女共同参画プラン(素案)」及び「第2次甲府市配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援基本計画(素案)」に対する意見の概要と市の考え方について

No.	意見(概要)	市の考え方
1	年齢問わずこの問題に対する教育が大事。50代、60代の男性には男女差別(と自身も周りを思っていないが)が抜き去りがたく染みついている。	「基本目標Ⅰ あらゆる人権尊重及びジェンダー平等の実現」に記載のとおり、ジェンダー平等意識の醸成に努めてまいります。
2	小さい頃からのきちんとした性教育が重要。この分野では北欧の国々、欧米、ヨーロッパの方が進んでいるので、是非とも参考にしてほしい。	「基本目標Ⅰ あらゆる人権尊重及びジェンダー平等の実現」に記載のとおり、若年層への包括的性教育の実施について、取組を進めてまいります。
3	数値目標が低すぎる。再考してほしい。	数値目標につきましては、本プランより新たに成果指標と活動指標に分け、内容につきましても見直しをさせていただきました。 設定した数値につきましては、本年度実施した市民意識調査結果のほか、前回調査時の数値や達成状況等を考慮し、5年後の目標値を設定しております。計画期間内に、数値の把握が可能な項目にあっては、達成状況に応じて、目標値の見直しも検討してまいります。
4	SDGsは2030年達成を目指しているにもかかわらず、数値目標が低すぎる。	数値目標につきましては、本プランより新たに成果指標と活動指標に分け、内容につきましても見直しをさせていただきました。 設定した数値につきましては、本年度実施した市民意識調査結果のほか、前回調査時の数値や達成状況等を考慮し、5年後の目標値を設定しております。計画期間内に、数値の把握が可能な項目にあっては、達成状況に応じて、目標値の見直しも検討してまいります。
5	ジェンダー問題も講習会・研修会開催も必要だが、まず地域づくりから見直し、市民の意識を変えるべき。男性優位の社会は、市議会や県議会を見ても明らかである。個の家庭は見直されつつあるが、地域では男性社会が多い。いくら学校などで男女平等を啓発しても実践が伴わないことが多く、市役所自体も部長などの役職は男性が多く占めている。環境整備を整えて、自分の意見が言え、反映される社会を望む。	あらゆる分野での、ジェンダー平等の実現に向け、成果目標において各指標を設定し、取り組んでまいります。
6	「男女共同参画」は「ジェンダー平等社会」が良いのでは？生物学的に男女にきっちり分けられないとのことなので。	本市の計画において、男女共同参画という言葉を使用しておりますが、基本理念やキャッチフレーズにも示しましたとおり、性別にかかわらず社会のあらゆる分野において、だれもが個性と能力を発揮することができ、「誰もが自分らしく生きることができる」社会の実現を目指しております。
7	小学校で男女混合名簿にする、同性婚を認める、保育園を増やすなどは市独自でできる。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
8	保育園等子どもの体調不良時の連絡先はほぼ母。改善する	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。

No.	意見(概要)	市の考え方
9	産休育休やその後の職場復帰、男性の育休促進には、職場に対する財政的支援があつて人手を補えるなら進むと思う。	「基本目標Ⅳ すべての人がともに働き続ける職場づくり」、「基本目標Ⅴ とともに支え合う家庭づくり」において、女性の就業環境の整備、男性の育児の促進についてはそれぞれ記載をしているところであります。具体的な取組方法についてのご意見は、参考とさせていただきます。
10	北欧では、子育て中など時短にすると、労働時間が短い分の賃金はないものの、そのほかの条件は正職と同じ条件とのこと。それならライフワークバランスが取れる。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
11	P36「女性も男性と対等に働くという意識をもちましょう」の文、言いたいことはわからなくもないが、今の現実でそれを追求したら、体を壊したり子どもにイライラをぶつけたりしそう。それより男女共に定時で仕事が終えられて帰宅できる社会が良い。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
12	女性に対するDVだけでなく、女性が子どもに暴言を吐く精神的暴力もある。親に子育ての責任を過度に押し付けないで、悩みを共有できる社会や、生活に困らない収入や時間の余裕が必要。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
13	「働きかけ方改革」が職場でのアンケートの推進や、単に早く帰られることだけで仕事量が同じという状態では、苦しい。仕事量が少なくとも社会が回っていくような産業構造、人を増やせるゆとり、賃金の上がる国になってほしい。甲府市だけでは実現できないので、国に意見を上げてほしい。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
14	女性の低賃金は、ケアワーカーと言われる、保育士・看護師・介護職員などに女性が多いことから言えると思う。それらの職種の賃金をあげることもぜひ国に要望して欲しい。精神論だけではジェンダーギャップは埋まらないと思う。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
15	甲府市の目標値、低すぎる。H27とR2との変化を比較すると、頑張らなくても自然増で到達できそうな目標に見える。	数値目標につきましては、本プランより新たに成果指標と活動指標に分け、内容につきましても見直しをさせていただきました。設定した数値につきましては、本年度実施した市民意識調査結果のほか、前回調査時の数値や達成状況等を考慮し、5年後の目標値を設定しております。計画期間内に、数値の把握が可能な項目にあっては、達成状況に応じて、目標値の見直しも検討してまいります。
16	女性の政治参画を進めるための事業を組んでほしい。甲府市議会議員との懇談会や政策提言できる場を設けて、議会自体に市民・女性の関心を高めること。また、子どもの頃からの「主権者教育」を学校教育に組み込むこと、大人の市民にも、主権者教育ができる講座を設けること。	「主権者教育」につきましては、「重点目標Ⅵ－2政策・方針決定の場への男女共同参画」内、「施策の方向① 市政への女性参画の推進」の行政の取り組みに追記をさせていただきます。そのほかのご意見につきましては、市民の政治に対する関心や意欲を高めていくにあたり、参考にさせていただきます。
17	場所だけあって、「人」がついていないのでは、男女共同参画センターとは言えない。人の配置を含め、「場」(機能)としての整備をしないで、利用人数を目標値に設定しても何の意味もない。根本から考え直すべき。	ご指摘のとおり、本市の男女共同参画センターについては、登録団体が学習や啓発活動を行う場として、南庁舎内の一室を貸出しております。目標値につきましては、貸出をしている施設としての利用人数を設定させていただきました。相談業務や男女共同参画推進に関する事業を実施しているのは、本庁舎内にある人権男女参画課が担っております。
18	質問です。保育の場でのジェンダー・バイアスの刷り込みをなくすことは、ジェンダー平等意識を育成するためには非常に重要だが、保育者、学童支援員、子育て支援センターの支援者など、若い子どもに関わる方々のジェンダー関係の研修は、どのように行われているのか。	ご記載のような、保育士等に対する、若い子どもへのジェンダー平等意識の育成といった専門的な研修は、現状、本市では実施はありません。ご意見につきましては、今後の取組についての参考にさせていただきます。